

○進路シラバス（1年生）

【目標】「自分を知り、社会を知る」

- ・自己理解を深化させるとともに社会理解を促進し、自分の適性を見極める。
- ・授業を中心とした学習習慣を確立させ、基礎基本を確実に定着させる。

学期	月	進路行事	試験	進路研究LHR 総合的な学習の時間 【進路探究学習】	進路決定への流れ	学習のポイント	
1	4	・学習実態調査 ・学習方法体験セミナー ・千鳥スターディングプログラム ・生徒面談 ・進路志望調査	・アドバイザーサポート	○進路研究LHR ・文理ガイダンス ○総合的な学習の時間 ・キャリアセミナーⅠ 「高校生入学講座」 ・大学リサーチ ・地域学	*自己理解に基づき文理コース選択を行うために、職業から学問、そして学部・学科まで概要を知る。	文理選択 職業・学問・学部・学科研究	授業を中心とした学習習慣の確立 *予習・授業・復習のサイクル確立 *目指せ4時間、割るな3時間 *休日の有効利用
	5		・中間考査				
	6	・生徒面談	・第1回校内実力テスト				
	7	・夏季補習 ・三者懇談	・期末考査 ・進研記述模試				
	8	・東京大学オープンキャンパスツアー ・各大学オープンキャンパス ・夏季補習	・夏季課題テスト ・アドバイザーサポート				
2	9	・学習実態調査 ・生徒面談 ・難関校ガイダンス		○総合的な学習の時間 ・キャリアセミナーⅡ 「広島大学訪問」 ・地域学	*大学を身近なものに感じ取るため、希望する学部・学科から、志望する大学を考えてみる。	大学・学部・学科研究	基本的な生活習慣の確立 4点の固定（起床・帰宅・学習開始・就寝）
	10	・難関大学訪問 ・合同保護者会	・中間考査 ・ハイレベル模試（希望者） ・進研記述模試				
	11	・志望校調査 ・生徒面談	・第2回校内実力テスト				
	12	・冬季補習 ・保護者懇談	・期末考査				
3	1	・学習実態調査	・冬季課題テスト ・進研記述模試 ・第3回校内実力テスト	○総合的な学習の時間 ・意見文・小論文作成 ・キャリアセミナーⅢ 「企業訪問」	*大学を身近なものに感じ取るため、希望する学部・学科から、志望する大学を考えてみる。	大学・学部・学科研究	基礎力養成 *授業を核に予習・授業・復習のサイクルで主要3教科の基礎力を養成する
	2	・生徒面談	・ハイレベル模試（希望者） ・学年末考査				
	3	・進路講演会 ・特別授業 ・春季補習	・小論文模試 ・アドバイザーサポート				
						基礎力強化 得意科目の育成	克服 克服点

学期	月	学習のアドバイス	
1	4	<p>●中学生から高校生への学習スタイルへ転換するのが、高1スタートでの最大の課題です</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学と高校の違い：授業の進度が速い。予習しないと授業についていけない。 ・学習方法体験セミナーで学んだことを実践しよう。 <p>●高校学習の決め手は「予習」です</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予習とは「自分がすでに持っている知識を用いて、新しいことに取り組む」ことです。 ・予習をすることで授業のより深い理解に結びつき、大学入試への対応力を付けることになります。 	
	5	<p>●中間考査が高校3年間を左右します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何を、どのレベルまで、どのように準備すれば、定期考査でどんな結果が出るか実感することが大切です。 ・成功すれば、自分に合った学習法を早期に身につけることができます。うまくいかなかった場合には、次はどうするべきかしっかりと考えましょう。自主的にテストの見直しをしていくことが重要です。 <p>●中間考査での好スタートにはゴールデンウィークの過ごし方がポイントになります</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタートが遅れたと感じても、4月は授業日数が少ない。ここで復習すれば、大丈夫です。 	
	6	<p>●テストを有効に活用しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テストは受けることだけに意味があるのではなく、見直しすることに最大の意味があります。テストは学力をつけるための生きた問題集です。間違えた問題の見直しを徹底し、同じ間違いを繰り返さないようにしましょう。 <p>●ノートづくりが、授業を中心とした具体的な学習法です</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノートこそが、オリジナルの参考書になります。ノートを足場にして、「忘れる」「思い出す」を繰り返して定着度のアップを図ることが定期考査対策であり、高1での学習方法が確立されます。 	
	7	<p>●高1の夏休みのポイントを知ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2学期からの勉強についていけるかどうかは、この夏休みにかかっています。 ・2つのポイントがあります。 ○1学期の弱点を克服し、自信を持って2学期を迎えられるようにしましょう。 ○生活習慣を固定して学習に励み、生活リズムを崩さずに2学期を迎えよう。(補習もしっかり活用しよう) 	
	8	<p>●自主的・計画的に学習する習慣をつけよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校での学習内容が一層レベルアップする2学期以降に向け、高1夏休み最大の課題です。自主的に勉強する習慣をつけるために、計画をしっかり立てて学習に励もう。 <p>●進路意識を高めて学習目的を明確にしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープンキャンパスや各種体験活動に積極的に参加し、進路についての考えを深めることが正しい文理選択、学習意欲向上のカギとなり、学習の目的も見えてきます。 	
	2	9	<p>●夏休みから早く切り替えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習実態調査などを利用して、夏休み気分を一掃し、早く通常の4点固定に戻そう。 <p>●優先順位をつけ、やるべきことをやりきろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2学期は学校行事などで、学習時間が割かれたり、不規則な学習になったりしがちです。学習も学校行事準備も計画的に取り組み、充実した学校生活を送ろう。
		10	<p>●「予習→授業→復習」のサイクルを再確認しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2学期は高校に入ってから学習習慣がそのまま成績に反映され、学力差があらわれてきます。中間考査の対策を契機に、生活習慣や学習方法を見直してみよう。 <p>●将来を見通した進路選択をしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「総合的な学習の時間」に調べたり聴いたりしたことを元に、興味・関心に応じた自らの進路を実現するための文理選択をしよう
		11	<p>●「授業→定期考査」の土台があって、実力・校外模試で成果が出ます</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の「予習→授業→復習」での小範囲の復習、定期考査を区切りにした中範囲の復習の土台があって、はじめて実力テストや校外模試で成果が出ます。週末を活用して、復習を進めてみよう。 <p>●「準備して受験」する実力テスト・校外模試にしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実力テスト・校外模試も自分の学習計画に組み込もう。受験後に復習し、次の試験までの学習課題を自分で立てます。実力・校外模試を区切りに大範囲の復習をすることにより、「合格へのサイクル」を確立させよう。
12		<p>●2年になるまでの3ヶ月計画で苦手を克服しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦手克服には3ヶ月以上かかります。つまり、2年になる前までに克服するには、冬休みから取り組まなければなりません。冬休み課題を効果的に活用できるように計画しよう。 <p>●冬休み中に苦手克服に着手して自信をつけよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3学期は授業時間も少なく、新たなことを学ぶ量が少ないので、冬休み～春休みの2段階構えで取り組めば苦手は克服できます。優先度の高い1教科を選び、教科担任の先生にも取り組み方を相談してみよう。 	
3		1	<p>●自分のやりたいことを考えてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年末年始は、たくさん大人の大人から進路に関する話を聞ける良い機会です。情報収集をしてみよう。 <p>●1年生でのセンター試験対策はどうしたらよいのでしょうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みなさんは2年後にセンター試験を受験します。センター試験は定期考査のレベルで、授業で学習したことを反復し、さらに応用できるようにすれば、それがそのままセンター試験対策になります。つまり、日々の授業を中心とした学習こそがセンター試験対策なのです。すでに解くことができる問題もあります。挑戦してみよう。
	2	<p>●定期考査レベルで身につけるべき基礎・基本を反復整理することが、3学期、春休みで最低限やるべきことになります</p> <p>●好きな科目を更に深め、考えることが入試対策です</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入試では学んだことを理解し、理論的に活用できることが大切です。得意科目(分野)を専門的に深めていくのが大学です。 ・「好きな科目」を、予習によって得意に育て、復習で活用力を身につけ、得点科目に仕上げよう。 	
	3	<p>●苦手克服はこの春休みに終わらせよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年末考査が終わると登校日が不定期になります。この特別授業・補習の間の休みこそ、弱点克服の絶好の機会となります。冬休みにできなかった苦手科目の克服のために、まとまった時間を取ることができます。また、得意な科目では発展的な学習をする時間をとることもできます。 <p>●自主的な学習習慣を高めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主的な学習時間がとりやすいこの時期にこそ、机に向かう習慣、集中して学習する習慣を付けよう。生活習慣を固定して、計画的に取り組むことが2年生の良いスタートを切るきっかけとなります。 	